

探訪紅花

山形県村山地方紅花MAP

紅花の花ことば ♡ 夢中、熱狂、情熱的、装い、化粧





紅花の伝来

原産地はエチオピアともいわれ、エジプトからシルクロードをたどって6世紀頃に日本に伝来したといわれています。山形県では15世紀半ばから栽培が始まったとされていますが、江戸初期には質・量とも日本一の紅花産地として栄え、最盛期には全国の50～60%を山形産が占めました。最上川沿いの肥えた土地が主産地で、朝霧の立ちやすい気候が、トゲのある紅花を摘みやすくしたといえます。

「まゆはきを^{おもかげ}俤にして^{べに}紅粉の花」の句は、芭蕉が奥の細道の旅の途中、この地を訪れた時に詠んだものです。1689年の当時、紅花なくては山形を語れなかったのでしょうか。

紅花交易は文化の交流にも大きな役割を果たし、巨万の富を築いた豪商も数多く現れました。現在も県内各地に、紅花に関する史跡や資料館があり、当時の記録をとどめています。



紅花屏風：山形県指定有形文化財。青山永耕筆。かつて最上紅花の名で知られた山形の特産品紅花。その栽培から、加工製造や出荷、流通の様子が、六曲一双、縦156.5cm、横366cmに詳細に描かれています。(山寺芭蕉記念館 所蔵)

気候・土壌・舟運に恵まれた山形

この最上川流域で、なぜ紅花の大産地が形成されたのでしょうか。気候・土壌が栽培に適していたということもありますが、山形の他に、奥州福島・奥州仙台・奥州三春・西国肥後・尾張・遠江・相模などで生産されていましたので、気候・土壌が決定的な要因だったというわけではなさそうです。

むしろ、最上川の舟運で山形と京都や大阪が北前船によって深く結びつき、紅花商人たちが活躍したことが、産地の拡大に繋がったといわれています。

紅花商人たちは、山形から紅餅を京へ出荷し、京からの帰り荷として古

着のパーツを中心とした日用品を持ち帰り、各地に広く商いました。行きで儲かり、帰りでも儲かるとのことで、この商売は「ノコギリ商売」と呼ばれたということです。

現在でも、最上川流域の市町村には、紅花商人たちによって京から持ち帰られた江戸時代の雛人形(享保雛、古今雛など)がたくさん残存し、「山形雛のみち」や「庄内雛のみち」といわれるほど雛祭りが盛んに行われています。

一方、舞妓さんにみられる真っ赤なおちよぼ口。その紅は紅花から抽出した染料で、江戸時代には「紅一匁(もんめ)金一匁」といわれるほど大変高価なものでした。



現在の紅花

明治に入ると外国からの化学染料が台頭し、紅花生産は急に衰退してしまいます。しかし戦後になって、山形県を代表する花として再び紅花が注目されはじめます。その保存と復興がはかられた結果、1982年には山形県の県花に選定されます。近年は自然染料として見直されてきており、山形県内では昔ながらの製法で作られた紅もちやすり花が生産されています。紅花からとれる食用油はサフラワー油として知られ、リノール酸を多く含むことから、コレステロール過多による動脈硬化症の予防に有効です。また、乾燥させた花びら(乱花)も、漢方では冷え性や肩こりなど、血行障害の治療に用いるといえます。

特性

キク科

学名：Carthamus tinctorius (カルタム・ティンクトリス)
 カルタムスはアラビア語で「染める」の意味
 和名：紅花、末摘花、呉の藍
 英名：Safflower (サフラワー)
 自生地：降水雨量の少ない乾燥地帯、砂漠、
 未耕地 (中央アジア山岳地帯、エジプト
 ナイル川中流域帯、エチオピア、地
 中海沿岸等)
 栽培適条件：少雨少湿、生育適温 10～25℃生育
 が進むほど高温、多日照条件になる
 環境が良い。土壌は耕土が深く、中
 性ないし弱アルカリ性の肥沃な土壌。

種類

- 品種名：もがみべにばな (剣葉種) 花色：黄・赤
 特性：山形農業試験場で出羽在来中生種の中から系統分離したものです。花色は開花始めが黄色でその後
 に花筒部から紅色に変化します。
- 品種名：とげなしべにばな (丸葉種) 花色：黄・赤
 特性：出羽在来種から系統選抜したものです。もがみ
 べにばなと比較すると、草丈低く、分枝数少なく、茎太く、
 葉色が濃く、開花は約1週間早く、花色は同じです。
- 品種名：しろべにばな (剣葉種) 花色：淡黄白
 特性：出羽在来種からの突然変異種。花色はクリーム
 色を帯びた白色で、開花期はもがみべにばなよりやや
 遅いです。

栽培

3月	4月			5月			6月			7月				
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
● は種 種は水洗いします			● 間引き 欠刻の小さな株を 残すようにします			● 中耕・土寄せ 適宜除草を兼ねて中耕をします 土寄せをし、株の倒伏を防止します			● 追肥 生育が不良な場合 追肥します			● 開花 夏時から11日目の半夏生の 日にはほとんど間違なく一つ、 二つ咲きは始めることから 「半夏一つ咲き」といわれます。		
● 病害虫防除 被害茎葉は除去します						● 花摘み 晴れた日に花弁が 乾いた状態で収穫します								

※一般的な栽培

用途

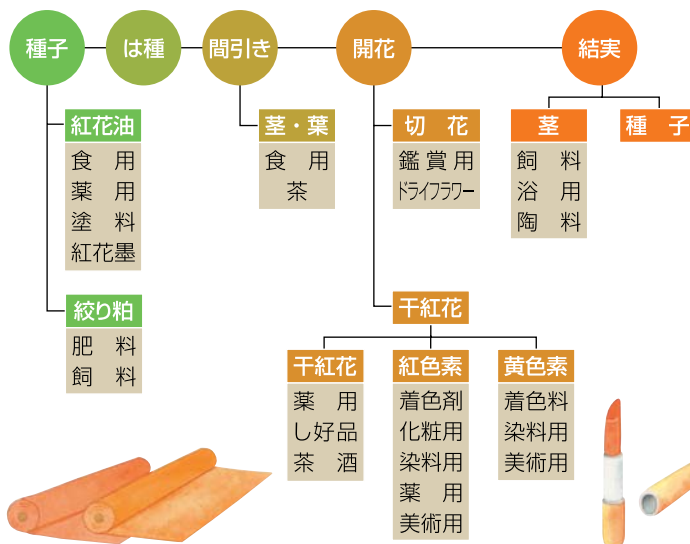
染料や食用として利用されている紅花。花弁や葉、種子とすべての部分が使用できて、化粧品や薬用など幅広いジャンルで使用されています。

紅花の花弁に含まれる色素には、水に溶ける色素(黄色)と水に溶けない色素(紅色)があり、共に染料として用いられます。

紅花の種子からはサフラワー油がとれ、サラダ油・天ぷら油マーガリン等の食用油として使われています。

紅花の色素を使用した菓子や麺類なども開発されており、今後、多方面への展開に期待されています。

主な用途



紅花は女性の味方!

化粧品では口紅に使われていることが有名ですが、最近では肌の活性化にも優れた効果を見せることから、女性の注目を集めています。顔のシミやシワの原因をつくる活性酸素を取り除く作用が認められています。摂取の仕方も紅花を煎じたお茶を飲んだり、ご飯に混ぜて食べたりと気軽にできます。また、唇に塗れば荒れを防いで血行を良くし、紅花で染めた布を肌につけると体が温まる等、昔から女性の味方でした。

紅花の効用

- ・鎮静作用
- ・抗炎症作用
- ・発ガン予防作用
- ・コレステロール上昇予防作用
- ・抗菌作用
- ・活性酸素消去作用
- ・血液をサラサラにする作用

紅花加工品

紅花加工品は、染物の染料や料理などに使われます。
山形の紅花で昔ながらの技法で作られた紅花加工品です。



紅もち(花もち)

水分中に含まれる酸素により発酵させ、黄色素を紅花素にした干紅花。極力花弁の形を残すために“つく”という作業で花弁の表皮組織に傷をつける程度で酸化させます。紅花染めに使用します。



すり花

空気中の酸素により、黄色素を紅色素にした干紅花。比較的新しい方法であり、“する”という作業により花弁組織の表皮組織を破壊し、急激に酸化させる方法です。紅花染めに使用します。



乱花

摘み取った花弁をそのまま乾燥させた干紅花で、主に食品加工品(パン、そば、うどん等に入れる)に使用します。漢方では冷え性や肩こりなど、血行障害の治療に用いることがあります。



見本 紅花シール

外国産紅花を使用した商品が、山形県産紅花を使用した商品と区別がつきにくいため、山形県産紅花を使用している紅花加工品(紅もち、すり花、乱花)にはこのようなシールが貼られています。

航空便をご利用の場合

羽田空港(東京)	55分	山形空港
千歳空港(札幌)	1時間10分	山形空港
名古屋空港(名古屋)	1時間	山形空港
伊丹空港(大阪)	1時間20分	山形空港
羽田空港(東京)	1時間	庄内空港
千歳空港(札幌)	1時間	庄内空港
伊丹空港(大阪)	1時間20分	庄内空港

鉄道をご利用の場合

東京駅	山形新幹線 最短2時間30分	山形駅		
東京駅	山形新幹線 最短2時間	米沢駅		
東京駅	山形新幹線 最短2時間30分	山形駅	山形新幹線 最短30分	新庄駅
東京駅	上越新幹線 2時間	新潟駅	羽越本線 2時間	鶴岡駅
東京駅	上越新幹線 2時間	新潟駅	羽越本線 2時間	酒田駅

車をご利用の場合

川口J.T	東北自動車道 314.6km	村田J.T	山形自動車道 41.7km	山形北IC
			山形自動車道 41.6km	
月山IC	R112 20.4km	湯殿山IC	山形自動車道 41.2km	酒田IC

バスをご利用の場合

仙台	1時間	山形
仙台	1時間30分	寒河江
仙台	1時間45分	米沢
仙台	2時間16分	新庄
仙台	最短2時間45分	酒田



お問い合わせ先

- ◎山形県村山総合支庁産業経済部商工労働観光課 ☎023-621-8444 <http://www.pref.yamagata.jp/>
- ◎やまがた観光情報センター・山形県観光物産協会 ☎023-647-2333 <http://www.yamagatakanko.com/>